

2023年度OITDAセミナー

# 「産業の高度化・微細化に 貢献する光・レーザ技術」



一般財団法人光産業技術振興協会では、2023年度「OITDAセミナー」を5月に東京ビッグサイトで開催されるインターオプトにおいて、下記要領で実施します。

2023年

日時

## 5/31 (水) 10:25~15:20

会場

## 東京ビッグサイト 会議棟 1階 102会議室

<プログラム>

10:25~10:30 主催者挨拶

(敬称略)  
一般財団法人光産業技術振興協会

10:30~11:10 レーザ微細加工におけるTACMIコンソーシアムの取り組み

東京大学 小林 洋平

11:10~11:50 プリント基板 レーザ加工の現状と未来

三菱電機株式会社 金田 充弘

11:50~12:30 スマートグラス開発の現状と今後の展開

セイコーエプソン株式会社 高木 将行

14:00~14:40 マイクロ・ナノフォトニクスの可能性を探る 欧州のエコシステム

(同時通訳予定) EPIC(EU) カルロス・リー

14:40~15:20 AR/VR・自動車産業におけるイメージングとセンシングのトレンド

(同時通訳予定) OPTICA(USA) ホセ・ポソ

聴講料：一般財団法人光産業技術振興協会賛助会員会社、教育機関、公的機関、報道関係者：無料

一般参加者：¥5,000（消費税・資料代¥1,000含む）

参加申込：右記HPよりお申込みください。 [https://form.oitda.or.jp/no9\\_1](https://form.oitda.or.jp/no9_1)

## 2023年度OITDAセミナー 「産業の高度化・微細化に貢献する光・レーザー技術」

(敬称略)

5月31日(水)		会場:東京ビッグサイト 会議棟 102 会議室
10:25~10:30	『主催者挨拶』	一般財団法人光産業技術振興協会 副理事長 兼 専務理事 小谷 泰久
10:30~11:10	『レーザー微細加工における TACMI コンソーシアムの取り組み』	 東京大学 物性研究所附属極限コヒーレント光科学研究センター教授 小林 洋平 近年レーザー加工の市場は 2 兆円規模となっている。これまでの機械加工からのレーザー加工への置き換えだけでなく、レーザーだからできる加工もある。例えば難加工性材料の CFRP や、脆性材料であるガラスなどが好例となっている。レーザー加工の中でも微細加工の伸びがおおきい。特に半導体後工程の基板穴あけなどはレーザー加工の独断場であり、今後も重要な技術となる。人口減少先進国である日本が取り組むべきスマートものづくりとレーザー加工との関係についても解説する。
11:10~11:50	『プリント基板 レーザ加工の現状と未来』	 三菱電機株式会社 産業メカトロニクス製作所 レーザ製造部 マイクロ加工機設計課 課長 金田 充弘 電子機器の小型化・高性能化・低消費電力化に伴い、マイクロ加工の需要は増加しており、高速に微細加工ができるレーザー加工装置へのニーズが高まっている。本発表では、当社レーザー加工装置での微細加工技術について紹介する。また、より微細加工可能な新たなレーザー加工装置の開発として、当社、大阪大学、スペクトロニクス社は NEDO 国プロ「高輝度・高効率次世代レーザー技術開発」に参画し、高出力深紫外ピコ秒レーザー加工システムを要素開発した。システムと加工事例について紹介する。
11:50~12:30	『スマートグラス開発の現状と今後の展開』	 セイコーエプソン株式会社 VSM プロジェクト シニアスタッフ 高木 将行 近年注目を集めるスマートグラスは、ハンズフリーで実視野に色々な情報を重ねて表示できることから、主に遠隔支援や作業支援などの産業分野での応用が広がりにつつある。一方で、期待されている Mixed Reality への応用や個人向けでの利用などに向けては、ハードウェアとして解決しなければならない課題が残されている。本講演では、自社製品 MOVERIO の製品とそれを使った応用例を紹介するとともに、技術開発における課題と今後の展開について述べる。
14:00~14:40	『マイクロ・ナノフォトニクスの可能性を探る 欧州のエコシステム』	 EPIC Director General カルロス・リー ナノ・マイクロ光学は、ヨーロッパの産業界で急速に成長し、活気に満ちた分野です。この最先端技術は、医療用画像から通信ソリューションに至るまで、さまざまな応用の可能性を秘めている。本講演では、急速に進展するこの分野の市場、アプリケーション、機会に焦点を当て、ヨーロッパのマイクロ・ナノフォトニクスのエコシステムの可能性を探る。ヨーロッパのマイクロ・ナノフォトニクス産業の現状を検証し、この新しい産業がもたらす課題と機会についても解説する。
14:40~15:20	『AR/VR・自動車産業におけるイメージングとセンシングのトレンド』	 OPTICA CTO ホセ・ポゾ グローバルなフォトニクス産業ネットワークの必要性に関して、3D イメージングとセンシング、統合フォトニクス、自動車、AR / VR において、現在のフォトニクストレンドの例とともに今後 10 年間で期待されるビジョンを解説する。

※都合により講師・プログラムの内容が変更になる場合があります。